



ふくたに しょうこ 福谷章子のまちづくり通信

2014年4月号 (平成26年4月15日発行)
編集・発行 千葉市議会議員 福谷章子 (未来創造ちば)
〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3丁目40-8 河野ビル213号
電話番号 (FAX) 043-312-2903
(月・火・木・金 10時~14時)

第1回定例会が、平成26年2月20日~3月18日までの会期で開催されました。

平成26年度予算は、一般会計3,753億円、特別会計4,234億6,100万円、総額7,987億6,100万円と、前年度比6.7%の増となる過去最大規模です。生活保護費などの扶助費、介護や子育ての分野、東日本大震災を教訓にした防災・減災対策の強化などの分野に重点的に配分された結果です。

一方、財政状況は依然として政令市ワーストで大変厳しく、第2期財政健全化プランを策定して、今後4年間で、建設事業債残高・債務負担行為支出予定額・基金借入残高・国民健康保険事業累積赤字額の4項目について1,000億円の削減を目指すこととしています。市債残高は少しずつですが減少し始めました。

26年度は新規事業も多くなっています。「千葉市の未来に資するものとなっているか」、「子どもたちを安心して育てられる社会へと向かっているか」、「市民一人一人への細やかな視点があるか」という視点で予算執行を見守っていきます。

今回の通信では、今後の千葉市の取り組みについて、26年度の事業を中心にまとめてみました。

子育て子育てを引き受ける社会に

●子ども医療費助成を拡充

子どもの医療費の助成について、通院医療費の助成対象を中学校3年生まで拡大することを認めました。ただし、窓口での自己負担は、小学校3年生まではこれまで通り300円で、小学校4年生から中学校3年生までは500円となります。8月1日から実施です。

●子育てコンシェルジュの全区への拡大

昨年は中央区と稲毛区に配置された子育てコンシェルジュですが、保育園等の入所相談だけでなく、子育て全般にわたる相談ができることで好評です。そこで、26年度は全区配置を予算化しました。

●プレーリーダーの派遣

子どもたちが体を使ってのびのび遊べるプレーパークが注目されています。プレーパークにはプレーリーダーの存在が不可欠です。そこで、プレーパーク事業を行うところに、プレーリーダーを派遣することとなりました。

●いじめへの対応

いじめ対策防止法に則り、各学校と教育委員会にいじめ対策調査委員会が、さらに特に重い事案を取り扱うために、市長部局にいじめ対策調査委員会が設置されます。また、各学校ではいじめ防止基本方針や対応マニュアルが作られます。

●ベビーシッター事件を受けて

横浜市磯子区の2歳の男児が、ベビーシッターによって遺棄されるという事件がありました。いざという時や夜間に子どもを預ける場について確認したところ、千葉市では次のような場所があります。困った時は躊躇せずに相談してください。

- ・ショートステイ (保護者の病気などで一時的に養育が困難な場合の短期入所)
乳児院1か所 児童養護施設3か所 母子生活支援施設1か所
- ・トワイライトステイ (夕方から夜間・休日に預かる。宿泊も可)
児童養護施設2か所 母子生活支援施設1か所
- ・ファミリーサポートセンター
会員同士で子どもを預かる。事前登録が必要。
いずれも、ひとり親家庭には減免があります。

●子育て世帯臨時給付金

平成25年12月5日に閣議決定された「子育て世帯臨時特例給付金」の千葉市での申請方法及び時期等については、千葉市から平成26年1月分の児童手当を受給している方に対して、7月頃に申請書類を送付し、受付は8月より郵送受付を予定されています。

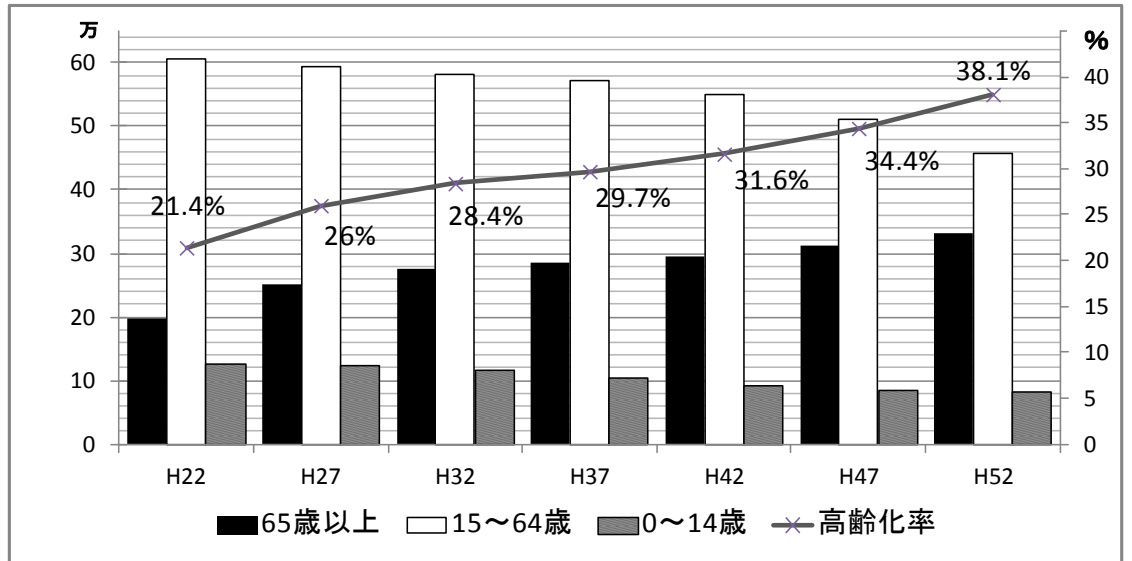
これらのことも含めて、子育て支援に関するさまざまな情報提供や意見交換会を行います。

日時 : 5月8日(木) 10時半~12時
場所 : みんなの広場

千葉市の未来を展望して 公共施設を見直す

●人口減少社会を見据えて

直近の人口推計では、千葉市は平成32年頃から人口減少社会に移行するとされ、今後は高齢者人口が増え、生産年齢人口は減少します。同時に高齢化率は上がっていきます。(下グラフ参照)



当然のことながら税収は落ち、集約型社会に向かうことは以前から指摘しています。現在、市有資産の見直しについて検討が始まっています。市有資産には、土地(公園や緑地を含む)、道路や下水道施設などのインフラ、公衆便所や消防団器具庫などの軽微な施設、公共施設などがあります。その中で、市は主要な施設として、学校、市営住宅、動物公園、体育館、庁舎、コミュニティセンター、文化ホール、図書館、公民館、病院、いきいきプラザ、福祉作業所、保育所、市場、農政センターなど870施設を見直しの対象としています。

▼施設の見直しの方法としては・・・

- 集約化: 同じ用途の施設を1か所にする
 - 複合化: 余剰・余裕スペースに周辺の異なる機能の施設を合わせる
 - 民間施設の利用: 周辺の民間施設を活用
 - 類似機能の統合: 目的は違っても実態が似ている施設の統合
 - 実施主体や運営主体の変更: 民間やPFIを導入
 - サービス提供方法の変更: ICTの活用により施設を前提としないサービス提供
- ▼見直しの方法を施設ごとに考えると・・・
- 小中学校: 適正配置を考える
 - 市営住宅: 長寿命化と人口減少に伴う戸数の適正化
 - コミュニティ系施設: 現状と将来ニーズを精査して類似機能施設を統合する
 - 社会教育施設: 学校との複合化や電子化によるサービス提供
 - スポーツ施設: 配置状況やニーズの将来見通しにより、再配置
 - 児童福祉・子育て支援施設: 学校や民間施設の活用
 - 高齢者・障害福祉施設: 需要増から民間活用
 - 行政施設: 業務プロセス改革やICT活用により施設総量の見直し

●維持更新費の拡大への対応

今後30年間のこれらの施設の維持更新に必要な額は約6,939億円。そのうち、投資可能な額は4,176億円であり、不足する2,663億円分を何とか解消する必要があります。今後、総人口の減少を想定すると、施設の総量や運営コストの見直しが必要となります。そこで、市では「千葉市公共施設見直し方針」(案)を策定し、4月15日から1ヶ月間、パブリックコメントを行います。

●超高齢社会の公共施設はどうあるべき?

人口減少に伴い公共施設を集約する必要に迫られる一方で、超高齢社会では身近な場所に気軽に通える施設が必要です。となれば、単に集約すれば良いのではなく、運営コストを削減しつつより身近で使いやすいものを創りだしていくことが大切だと考えます。公共施設=大型施設という思い込みを持ってはいないでしょうか。

今後の公共施設について、資料を揃えてみなさんと検討する機会を設けます。さまざまな観点からご意見をうかがいたいと思いますので、ふるってご参加ください。

日時 : 4月22日(火) 10時半~12時
場所 : みんなの広場

緑区の独自性と区民の自主的公益活動

政令市となって 20 年を経過したことと自治法の改正により地方自治体の自治権が強化される中で、都市内の分権も進んでいます。千葉市においても各区の裁量権拡大を目指し、**独自事業が展開できる**よう予算化しています。緑区では 940 万円が認められました(昨年度 900 万円)。

区民対話会・ふるさと祭り・チューリップまつり(今年で最後となります※)・魅力発信事業・芸術文化交流事業・都市部住民と農業生産者の交流・合同パトロール・避難所運営委員会育成事業・こども防災体験・防犯ウォーキング・**緑区地域活性化支援事業**

緑区地域活性化支援事業の今後の課題

この事業は、市民の自主的公益活動に区が助成をするもので、毎年公開プレゼンテーションを行って審査し、助成する事業を決定しています。ただし、連続して 3 年までとなっており、会費収入が見込めない自主的な団体の財源確保策は事業継続の大きな課題となります。事業収入が得られるような活動を認めたり、公益活動を寄付で支えるような文化醸成が必要です。一方で、自治会や PTA、社会福祉協議会地区部会やスポーツ振興会などのように、住民の会費で支えられている団体では、事業が形骸化したり役員の担い手が少なくなったりという課題を抱えています。これらの解決のために、多様な団体が集まって話し合う「地域運営委員会」もできる地域から始まります。**これまでの地域の合意形成のあり方や公益的な活動の担い手や財源を見直していくことも大切だと考えます。**

26 年度緑区地域活性化支援事業に採択された団体

- (新) おゆみの道 緑とせせらぎの会(生き物の観察会)
- (新) つばさ子ども会(不法投棄を減らす環境づくり)
- (新) 第 12 地区町内自治会連絡協議会(防災マップの作成)
- (新) NPO 法人 Hands for others(地域の交流の場づくりと夏休み講座)
- (新) 鎌取町内会みまもーる(見守り活動)
- (新) やまぼうし たすけあいの会(家事周りの助け合い、ラジオ体操、ごみ拾い等)
- (2 年目) ほんだねっと(親子が集う居場所、町の情報の見える化)
- (2 年目) 菅田の教育を考える会(菅田郷土かるたの作成と活用)
- (2 年目) おゆみ野クリーンクラブ(遊歩道の清掃活動 ベンチの修理)
- (3 年目) おゆみ野四季の道委員会(多世代の居場所づくり、駅伝大会、ウォークラリー)
- (3 年目) どうのうしろこうしろ会(工作・手芸教室の開催)
- (3 年目) おもちゃの広場 はじめのいっぽ(手遊びと絵本の読み聞かせ)

区テーマ

- (新) 第 23 地区町内自治会連絡協議会(防災マップの作成)

毎年、事業終了後は報告会も行っています。これらの場に区民も参加して、公益活動をしている人や団体が繋がる場となっていくと良いのではないかと思います。25 年度の活動報告会は、**4 月 19 日(土)午後 1 時半から区役所で開催**されます。参観におでかけください。

※ 今年度で最後となる「野馬の里 チューリップまつり」



10 年目となる今年は、4 万本のチューリップが植えられています。昨年は雨の中の開催でしたが、それは見事でした。10 年間の地域ぐるみの成果は、さまざまところに浸透していることでしょう。

野馬の里のホームページ
<http://www.nomanosato.com/>

今年は**4 月 20 日(日)午前 10 時から開催**です。
美しいチューリップ畑は必見です。ぜひお出かけください。
大木戸小学校から越智中学校へ向かう道の途中にあります。



地域防災計画に男女共同参画の視点を

千葉市内の各避難所へ設置される「避難所運営委員会」の設置状況が予算審査分科会で報告されました。中央区 28/58、花見川区 10/49、稲毛区 19/42、若葉区 8/47、緑区 34/34、美浜区 24/53、全体では 123/283(設置数/避難所数)、緑区は 100%の設置です。

避難所 1 箇所につき運営委員は 12 人前後で、うち職員 4~5 人、校長などの管理者、住民は 7~8 人の構成になっています。ところで、緑区では、避難所運営委員会の委員に女性の占める割合は、男性 340 名に対して女性 54 名と、13.7%です。もう少し女性の委員が増えるといいと考えます。

介護や子育て、障害者の介助など、現状では女性が関わるが多く、そういった災害弱者の実情を分かっているのは女性です。したがって、避難所設営や配置、運営時の配慮などに女性の視点が必要なのです。

緑区では、26 年度の区事業として男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営支援を組み入れていますので、その取り組みに期待します。

避難所運営や自主防災組織について聞かせてください

日時 : 6 月 24 日(火) 10 時半~12 時
場所 : みんなの広場

新たなコラボレーション「メディアアート」

市では、新たな文化事業として、昨年度末に千葉市科学館のプラネタリウムで音楽と映像とがコラボレーションするメディアアートに挑戦しました。チケットは発売後 2 時間足らずで完売でした。若いアーティストが制作や運営を担い、参観者にも若者が多く、文化活動の新たな広がり可能性を感じました。

平成 26 年度もメディア芸術振興が予算化されていて、映像芸術の促進を通じた新たな文化振興のためのワークショップなどが開催されます。千葉市でもメディアアートを育てていきましょう。



障がい者スポーツへの環境整備

車椅子バスケットやウェルチェアラグビーなど、車椅子スポーツが千葉市内では盛んに行われています。淑徳大学が力を入れてきた「長谷川



良信記念全国選抜車椅子バスケットボール大会」を千葉市は支援してきましたが、今年からは千葉市長杯も設けました。さらにポータアリーナを改修して使いやすいようにし、車椅子スポーツの拠点となるようにしました。2020 年のパラリンピックを目指して、バックアップしていきたいですね。

お誘い

26 年度は、千葉市政や身近な課題について、みなさんと語り合う場を作ります。関心のある方はどなたでも参加できます。

場所はみんなの広場です。(緑区おゆみ野 3 丁目 40-8 河野ビル 1 階)
問合せ先: 福谷章子事務所 (Tel 043-312-2903)

4 月	公共施設の見直しと評価について	4/22(火)
5 月	千葉市の子育て支援について	5/8(木)
6 月	避難所運営や自主防災組織について	6/24(火)
7 月	高齢期の住まい方について	7/18(金)
8 月	市庁舎の建て替えについて(予定)	日程未定 ※いずれも時間は 10 時半~12 時
9 月	千葉駅周辺の変化について(予定)	
10 月	これからの交通政策について(予定)	
11 月	千葉市の医療について(予定)	

副議長室から ~議会運営について~

●議員報酬の時限削減を決定

平成 21 年から実施している議員報酬の 5%減額、政務活動費の 10%減額措置について、平成 26 年度も実施することを決めました。

●議会改革推進協議会で議会の災害対応

千葉市議会では議会としては珍しい、災害対応指針を策定し、災害対策会議を設置できることとしました。

それを受け、3 月 12 日の議会開会中に大地震発生を想定し、議場からの避難訓練を実施しました。訓練には、市長はじめ議長説明員や傍聴のみなさん、全議員が参加しました。

議会としては非常時の情報受信や、行政との連携などの課題があります。3. 11 の記憶を風化させないためにも、今後も実施してまいります。